

## いま必要な授業改善の取組

	導入場面	展開場面	終末場面
授業前 (準備段階)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 終末から授業をデザインする（大隅終末ベーシック 「まとめ」を考えた後に「めあて」を立てる）</li> <li>○ 目指す児童生徒像と目指す授業像を意識した教材研究</li> <li>○ 予習（家庭学習）とリンクした授業の導入づくり</li> </ul>		
授業中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供が本気で解決したい課題の設定（難しい課題の提示）</li> <li>○ わくわくするやってみたいと思う「問い」の設定⇒子供が考えためあて</li> <li>○ 意見の比較（ズレ）や事象をもとに子供のことばでめあてをたてる</li> <li>○ 予想や解決の見通しをもたせる場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的や視点を明確にした対話場面の設定</li> <li>○ 他者から学び機会の設定（ICT 活用等による他者参照の場）</li> <li>○ 子供が発言する時間を○分確保</li> <li>○ 子供がしっかり考える時間を○分確保</li> <li>○ 一人一人に応じた学びの場や学ぶ内容、時間を選べる機会づくり</li> <li>○ 考えを練り上げる場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演習問題の確実な実施（問題を通した達成感や新たな疑問）</li> <li>○ 振り返り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びの価値や達成感を実感できる振り返り</li> <li>・ 何が「わかったのか」「できるようになったのか」を表出する（アウトプット）振り返り</li> <li>・ 互いに価値付け合う振り返り</li> </ul> </li> <li>○ 「What if not」による新たな課題づくり</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供の考えの可視化（板書の構造化）</li> <li>○ 学習の展開（解決の過程）の校内による共通実践</li> <li>○ 授業と家庭学習のリンク（家庭でやりたいと思える問いや課題の設定）</li> <li>○ 子供の学びの姿を認めて称賛する声掛け</li> </ul>		